

福井県建設工事総合評価落札方式実施要領 新旧対照表

改正後	改正前
<p style="text-align: center;">福井県建設工事総合評価落札方式実施要領</p> <p>第1条～第4条 (略)</p> <p>(総合評価落札方式における入札公告の記載事項)</p> <p>第5条 (略)</p> <p>2 評価項目および評価基準は、別記2から<u>8</u>までの評価基準表を参考として設定するものとする。</p> <p>(評価方法)</p> <p>第6条 総合評価落札方式による評価の方法は、<u>次に掲げる工事区分に応じ、それぞれ当該各号に掲げるところにより行うものとする。</u></p> <p><u>(1) 低入札価格調査制度を適用する工事</u>            評価点＝標準点＋技術評価点            評価値＝評価点／入札価格</p> <p><u>(2) 低入札価格調査制度を適用しない工事</u>  <u>次に掲げる入札価格の区分に応じ、それぞれ次に定めるところによる。</u></p> <p><u>ア 入札価格が基準価格以上の場合</u>            評価点＝標準点＋技術評価点            評価値＝評価点／入札価格</p> <p><u>イ 入札価格が基準価格未満の場合</u>            評価点＝標準点＋技術評価点            評価値＝評価点／{基準価格＋<math>\alpha</math>×(基準価格－入札価格)} (係数  <u><math>\alpha=3</math>)</u></p> <p>2 (略)</p>	<p style="text-align: center;">福井県建設工事総合評価落札方式実施要領</p> <p>第1条～第4条 (略)</p> <p>(総合評価落札方式における入札公告の記載事項)</p> <p>第5条 (略)</p> <p>2 評価項目および評価基準は、別記2から<u>7</u>までの評価基準表を参考として設定するものとする。</p> <p>(評価方法)</p> <p>第6条 総合評価落札方式による評価の方法は、<u>標準点および技術評価点(評価項目ごとに与えられる加算点を合計した数値をいう。)を合計した数値(以下「評価点」という。)を入札価格で除して得られた数値(以下「評価値」という。)をもって行うものとする。</u></p> <p>評価点＝標準点＋技術評価点            評価値＝評価点／入札価格</p> <p>2 (略)</p>

3 第1項の「技術評価点」とは、別記2から8までに規定する評価基準表に定める評価項目ごとに与える加算点を合計した数値をいい、技術提案型（標準型）にあつては30点以内、実績評価型（簡易型）にあつては15点以内で、当該評価基準表に定める数値を満点とする。

4 第1項の「基準価格」とは、第14条の規定により定める額をいう。

第7条～第10条 （略）

（総合評価調査基準価格等の設定）

第11条 契約担当者は、設計額が2億円を超える工事である場合にあつては、予定価格のほか、総合評価調査基準価格および総合評価失格基準価格を、設計額が2億円以下の工事である場合にあつては、予定価格のほか、基準価格を設けるものとする。

2 （略）

第12条 （略）

（総合評価失格基準価格）

第13条 総合評価失格基準価格の設定については、低入札価格調査制度実施要領第4条の3の規定を準用する。

（基準価格）

第14条 契約担当者は、工事に係る入札における基準価格については、予定価格に次項の規定により算出された割合を乗じて得た額を基準として定めるものとする。ただし、基準価格は、予定価格に100分の80を乗じて得た額から100分の92を乗じて得た額までの範囲内でなければならない。

2 前項の割合は、設計額算定の基礎となった次に掲げる額の合計額に100分の108を乗じて得た額を設計額で除して得た割合とする。ただし、その割合が100分の92を超える場合は100分の92とし、100分の80に満たない場合は100分の80とする。

3 第1項の「技術評価点」とは、別記2から7までに規定する評価基準表に定める評価項目ごとに与える加算点を合計した数値をいい、技術提案型（標準型）にあつては30点以内、実績評価型（簡易型）にあつては15点以内で、当該評価基準表に定める数値を満点とする。

第7条～第10条 （略）

（総合評価調査基準価格等の設定）

第11条 契約担当者は、設計額が2億円を超える工事である場合にあつては、予定価格のほか、総合評価調査基準価格および総合評価失格基準価格を、設計額が2億円以下の工事である場合にあつては、予定価格のほか、総合評価失格基準価格を設けるものとする。

2 （略）

第12条 （略）

（総合評価失格基準価格）

第13条 総合評価失格基準価格の設定については、設計額が2億円以下の工事である場合にあつては最低制限価格制度実施要領第5条の規定を、設計額が2億円を超える工事である場合にあつては低入札価格調査制度実施要領第4条の3の規定を準用する。

- (1) 直接工事費に100分の100を乗じて得た額
- (2) 共通仮設費に100分の90を乗じて得た額
- (3) 現場管理費に100分の90を乗じて得た額
- (4) 一般管理費に100分の55を乗じて得た額

第15条 (略)

(落札者の決定)

第16条 落札者の決定は、次の各号に掲げる入札方式の区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるところにより行うものとする。

- (1) (略)
- (2) 制限付き一般競争入札（事後審査型） 次のアおよびイに定めるところによる。

ア 予定価格の範囲内で入札した者のうち、第8条第3項各号に規定するところにより確定した評価値が最も高い者を落札候補者として決定するものとする。ただし、最も評価値の高い者が複数であるときは、くじ引きにより、落札候補者を決定するものとする。

イ (略)

2 (略)

第17条～第21条 (略)

附 則

- 1 この要領は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 この要領の施行の日前に公告を行った入札により行う総合評価落札方式の手続きについては、なお従前の例による。
- 3 福井県建設工事総合評価落札方式試行要領は、廃止する。

附 則（平成23年7月14日）

- 1 この要領は、平成23年7月15日（次項において「施行日」という。）か

第14条 (略)

(落札者の決定)

第15条 落札者の決定は、次の各号に掲げる入札方式の区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるところにより行うものとする。

- (1) (略)
- (2) 制限付き一般競争入札（事後審査型） 次のアおよびイに定めるところによる。

ア 予定価格の範囲内で、かつ、総合評価失格基準価格以上の価格で入札した者のうち、第8条第3項各号に規定するところにより確定した評価値が最も高い者を落札候補者として決定するものとする。ただし、最も評価値の高い者が複数であるときは、くじ引きにより、落札候補者を決定するものとする。

イ (略)

2 (略)

第16条～第20条 (略)

附 則

- 1 この要領は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 この要領の施行の日前に公告を行った入札により行う総合評価落札方式の手続きについては、なお従前の例による。
- 3 福井県建設工事総合評価落札方式試行要領は、廃止する。

附 則（平成23年7月14日）

- 1 この要領は、平成23年7月15日（次項において「施行日」という。）

ら施行する。

- 2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この要領は、平成24年4月1日（次項において「施行日」という。）から施行する。
- 2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この要領は、平成25年5月1日（次項において「施行日」という。）から施行する。
- 2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この要領は、平成26年6月1日（次項において「施行日」という。）から施行する。
- 2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この要領は、平成27年4月1日（次項において「施行日」という。）から施行する。
- 2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。

から施行する。

- 2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この要領は、平成24年4月1日（次項において「施行日」という。）から施行する。
- 2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この要領は、平成25年5月1日（次項において「施行日」という。）から施行する。
- 2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この要領は、平成26年6月1日（次項において「施行日」という。）から施行する。
- 2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この要領は、平成27年4月1日（次項において「施行日」という。）から施行する。
- 2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この要領は、平成30年4月1日（次項において「施行日」という。）から施行する。
- 2 改正後の規定は、施行日以後に入札公告を行う工事に係る入札から適用し、施行日前に入札公告を行った工事に係る入札の手続については、なお従前の例による。









「舗装工事」評価基準表(○○○○○○○工事)

分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を満足設定	15.0
(B)	(a) 同種工事の施工実績の有無 (1) 施工実績(1)の1/10以上の実績があるか (2) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (3) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (4) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (5) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか	表2に示す期間に企業が完備として同種工事の施工実績を有しているか?	(有) 施工実績のある同種工事の施工実績が、当該評価年度の60%以上であったもの	1.5
		上記以外		0.0
		8.0点以上		3.5
		7.0点以上 8.0点未満 (工事毎に算定された平均点×0.3×0.5)		0.5～3.2
		7.0点未満		0.0
8.0点	(a) 優良工事表彰(表彰・賞状) (1) 優良工事表彰(表彰・賞状) (2) 優良工事表彰(表彰・賞状) (3) 優良工事表彰(表彰・賞状)	優良工事表彰(表彰・賞状)の取得による知見の蓄積あり		0.5
		優良工事表彰(表彰・賞状)による知見の蓄積なし(該当なし)		0.0
		ISO9001認証を取得している。		0.5
		上記以外		0.0
(C)	(a) 同種工事の施工実績の有無 (1) 施工実績(1)の1/10以上の実績があるか (2) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (3) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (4) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (5) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか	表2に示す期間に企業が完備として同種工事の施工実績を有しているか?	(有) 施工実績のある同種工事の施工実績が、当該評価年度の60%以上であったもの	1.5
		上記以外		0.0
		1級建築士資格の保有する資格		1.0
		2級建築士(管理技術者の資格を保有)		0.5
		上記以外		0.0
(D)	(a) 地域貢献度 (1) 地域貢献度(1)の1/10以上の実績があるか (2) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (3) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (4) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (5) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか	表2に示す期間に企業が完備として同種工事の施工実績を有しているか?	(有) 施工実績のある同種工事の施工実績が、当該評価年度の60%以上であったもの	1.5
		上記以外		0.0
		1級建築士資格の保有する資格		1.0
		2級建築士(管理技術者の資格を保有)		0.5
		上記以外		0.0
企業の実績・地域貢献性	(a) 地域貢献度 (1) 地域貢献度(1)の1/10以上の実績があるか (2) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (3) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (4) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (5) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか	表2に示す期間に企業が完備として同種工事の施工実績を有しているか?	(有) 施工実績のある同種工事の施工実績が、当該評価年度の60%以上であったもの	1.5
		上記以外		0.0
		1級建築士資格の保有する資格		1.0
		2級建築士(管理技術者の資格を保有)		0.5
		上記以外		0.0
重点	(a) 同種工事の施工実績の有無 (1) 施工実績(1)の1/10以上の実績があるか (2) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (3) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (4) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (5) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか	表2に示す期間に企業が完備として同種工事の施工実績を有しているか?	(有) 施工実績のある同種工事の施工実績が、当該評価年度の60%以上であったもの	1.5
		上記以外		0.0
		1級建築士資格の保有する資格		1.0
		2級建築士(管理技術者の資格を保有)		0.5
		上記以外		0.0

(注) 1. 加算評価を行った評価項目の内容の履行確認の方法については別記1のとおりとする。

2. 技術提案において、同一内容の提案が複数あった場合は、最も点数の大きい一つの提案のみを評価する。

「舗装工事」評価基準表(○○○○○○○工事)

分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を満足設定	15.0
(B)	(a) 同種工事の施工実績の有無 (1) 施工実績(1)の1/10以上の実績があるか (2) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (3) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (4) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (5) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか	表2に示す期間に企業が完備として同種工事の施工実績を有しているか?	(有) 施工実績のある同種工事の施工実績が、当該評価年度の60%以上であったもの	1.5
		上記以外		0.0
		8.0点以上		3.5
		7.0点以上 8.0点未満 (1) 施工実績(1)の1/10以上の実績があるか (2) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (3) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (4) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (5) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか		0.5～3.2
		7.0点未満		0.0
企業の実績・地域貢献性	(a) 優良工事表彰(表彰・賞状) (1) 優良工事表彰(表彰・賞状) (2) 優良工事表彰(表彰・賞状) (3) 優良工事表彰(表彰・賞状)	優良工事表彰(表彰・賞状)の取得による知見の蓄積あり		0.5
		優良工事表彰(表彰・賞状)による知見の蓄積なし(該当なし)		0.0
		ISO9001認証を取得している。		0.5
		上記以外		0.0
(C)	(a) 同種工事の施工実績の有無 (1) 施工実績(1)の1/10以上の実績があるか (2) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (3) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (4) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (5) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか	表2に示す期間に企業が完備として同種工事の施工実績を有しているか?	(有) 施工実績のある同種工事の施工実績が、当該評価年度の60%以上であったもの	1.5
		上記以外		0.0
		1級建築士資格の保有する資格		1.0
		2級建築士(管理技術者の資格を保有)		0.5
		上記以外		0.0
(D)	(a) 地域貢献度 (1) 地域貢献度(1)の1/10以上の実績があるか (2) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (3) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (4) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (5) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか	表2に示す期間に企業が完備として同種工事の施工実績を有しているか?	(有) 施工実績のある同種工事の施工実績が、当該評価年度の60%以上であったもの	1.5
		上記以外		0.0
		1級建築士資格の保有する資格		1.0
		2級建築士(管理技術者の資格を保有)		0.5
		上記以外		0.0
企業の実績・地域貢献性	(a) 地域貢献度 (1) 地域貢献度(1)の1/10以上の実績があるか (2) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (3) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (4) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (5) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか	表2に示す期間に企業が完備として同種工事の施工実績を有しているか?	(有) 施工実績のある同種工事の施工実績が、当該評価年度の60%以上であったもの	1.5
		上記以外		0.0
		1級建築士資格の保有する資格		1.0
		2級建築士(管理技術者の資格を保有)		0.5
		上記以外		0.0
重点	(a) 同種工事の施工実績の有無 (1) 施工実績(1)の1/10以上の実績があるか (2) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (3) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (4) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか (5) 1事業年度(1)の1/10以上の実績があるか	表2に示す期間に企業が完備として同種工事の施工実績を有しているか?	(有) 施工実績のある同種工事の施工実績が、当該評価年度の60%以上であったもの	1.5
		上記以外		0.0
		1級建築士資格の保有する資格		1.0
		2級建築士(管理技術者の資格を保有)		0.5
		上記以外		0.0

(注) 1. 重点評価を行った評価項目の内容の履行確認の方法については別記1のとおりとする。

2. 技術提案において、同一内容の提案が複数あった場合は、最も点数の大きい一つの提案のみを評価する。



別添7 「管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事」(管・電気系を除く) 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工)

分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工区内に応じた設定	必要な項目を審査設定	15.0
(B)	企業の技術力	(b) ① 同種工事の施工経験の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	(a) 施工経験のある同種工事の施工実績が、当該業種実績以上であったもの	1.5
		(b) ② 同種工事の施工実績の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	(a) 施工経験のある同種工事の施工実績が、当該業種実績の90%以上100%未満であったもの	1.0
		(b) ③ 同種工事の施工実績の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	上記以外	0.0
		(b) ④ 同種工事の施工実績の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	8.0点以上	3.5
		(b) ⑤ 同種工事の施工実績の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	7.0点以上 8.0点未満 《工事成績評定点の平均値-70》×0.3+0.5	0.5～3.2
6・0点	(b) 優良工事表彰 【業種：〇〇工事】 【平成24年度～25年度】	優良工事表彰受賞による加算申請あり	0.5	
	(b) 優良工事表彰 【業種：〇〇工事】 【平成24年度～25年度】	優良工事表彰受賞による加算申請なし (または受賞なし)	0.0	
	(b) 品質管理マネジメントの取付	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか?	0.5	
	(b) 品質管理マネジメントの取付	上記以外	0.0	
	(C) ① 同種工事の施工経験の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	(a) 施工経験のある同種工事の施工実績が、当該業種実績以上であったもの	1.5	
(C) ② 同種工事の施工経験の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	(a) 施工経験のある同種工事の施工実績が、当該業種実績の90%以上100%未満であったもの	1.0		
(C) ③ 同種工事の施工経験の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	上記以外	0.0		
(C) ④ 同種工事の施工経験の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	1級〇〇工事施工管理技士の資格を保有	1.0		
(C) ⑤ 同種工事の施工経験の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	上記以外	0.0		
(D)	企業の地域性	(d) 地域特産品	上たる営業所の所在地	2.5
		(d) 地域特産品	上記以外	0.0
		(d) 地域特産品	0.0未満営業所あり 0.0以上1.0未満営業所あり	1.0
		(d) 地域特産品	0.0以上1.0未満営業所あり 1.0以上2.0未満営業所あり	1.0
		(d) 地域特産品	上記以外	0.0
5・0点	社会的	(d) 社会貢献度	福祉または福祉界内の市町のいずれかとの緊急災害時等における災害協定締結の有無	1.0
		(d) 社会貢献度	災害協定の締結なし	0.0
		(d) 社会貢献度	実績あり	1.0
		(d) 社会貢献度	実績なし	0.0
		(d) 社会貢献度	① 県内企業の活用 ② 1～④のうち1つ以上を満足する場合に評価する ③ 元請企業が「発注者が指定する工種(別添1)」を除く工種」の全てについて県内に上たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ④ 「発注者が指定する工種(別添1)」を除く工種」の全てについて、県内に上たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種(別添1)」を除く工種」の全てを自ら施工する	0.5
満点	技術提案を求めない簡易型	(d) 技術提案を求めない簡易型	上記以外	0.0
		(d) 技術提案を求めない簡易型	技術提案を求めない簡易型	14.5

(注) 1. 加点評価を行った評価項目の取付確保の方法については別添1のとおりとする。  
2. 優良工事表彰の受賞による加算申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価方式の手引き」を参照の上、入札を行うこと。  
3. 技術提案において、同一内容の提案が複数あった場合は、最も加算の大きい一つの提案のみを評価する。

「管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事」 評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇工)

分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数
(A)	技術提案	工区内に応じた設定	必要な項目を審査設定	15.0
(B)	企業の技術力	(b) ① 同種工事の施工経験の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	(a) 施工経験のある同種工事の施工実績が、当該業種実績以上であったもの	1.5
		(b) ② 同種工事の施工実績の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	(a) 施工経験のある同種工事の施工実績が、当該業種実績の90%以上100%未満であったもの	1.0
		(b) ③ 同種工事の施工実績の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	上記以外	0.0
		(b) ④ 同種工事の施工実績の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	8.0点以上	3.5
		(b) ⑤ 同種工事の施工実績の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	7.0点以上 8.0点未満 《工事成績評定点の平均値-70》×0.3+0.5	0.5～3.2
6・0点	(b) 優良工事表彰 【業種：〇〇工事】 【平成24年度～25年度】	優良工事表彰受賞による加算申請あり	0.5	
	(b) 優良工事表彰 【業種：〇〇工事】 【平成24年度～25年度】	優良工事表彰受賞による加算申請なし (または受賞なし)	0.0	
	(b) 品質管理マネジメントの取付	品質管理マネジメントISO9001認証を取得しているか?	0.5	
	(b) 品質管理マネジメントの取付	上記以外	0.0	
	(C) ① 同種工事の施工経験の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	(a) 施工経験のある同種工事の施工実績が、当該業種実績以上であったもの	1.5	
(C) ② 同種工事の施工経験の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	(a) 施工経験のある同種工事の施工実績が、当該業種実績の90%以上100%未満であったもの	1.0		
(C) ③ 同種工事の施工経験の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	上記以外	0.0		
(C) ④ 同種工事の施工経験の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	1級〇〇工事施工管理技士の資格を保有	1.0		
(C) ⑤ 同種工事の施工経験の有無 【業種：〇〇工事】 【平成24年(1)～25年(4)までの実績を有しているか?】	上記以外	0.0		
(D)	企業の地域性	(d) 地域特産品	上たる営業所の所在地	2.5
		(d) 地域特産品	上記以外	0.0
		(d) 地域特産品	0.0未満営業所あり 0.0以上1.0未満営業所あり	1.0
		(d) 地域特産品	0.0以上1.0未満営業所あり 1.0以上2.0未満営業所あり	1.0
		(d) 地域特産品	上記以外	0.0
5・0点	社会的	(d) 社会貢献度	福祉または福祉界内の市町のいずれかとの緊急災害時等における災害協定締結の有無	1.0
		(d) 社会貢献度	災害協定の締結なし	0.0
		(d) 社会貢献度	実績あり	1.0
		(d) 社会貢献度	実績なし	0.0
		(d) 社会貢献度	① 県内企業の活用 ② 1～④のうち1つ以上を満足する場合に評価する ③ 元請企業が「発注者が指定する工種(別添1)」を除く工種」の全てについて県内に上たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ④ 「発注者が指定する工種(別添1)」を除く工種」の全てについて、県内に上たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種(別添1)」を除く工種」の全てを自ら施工する	0.5
満点	技術提案を求めない簡易型	(d) 技術提案を求めない簡易型	上記以外	0.0
		(d) 技術提案を求めない簡易型	技術提案を求めない簡易型	29.5

(注) 1. 加点評価を行った評価項目の取付確保の方法については別添1のとおりとする。  
2. 優良工事表彰の受賞による加算申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価方式の手引き」を参照の上、入札を行うこと。  
3. 技術提案において、同一内容の提案が複数あった場合は、最も加算の大きい一つの提案のみを評価する。  
4. 管工事(管渠を除く。)以外に地域特産品(河川施設を除く)の項目を審査しない。

別記8 「営繕系の管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事」評価基準表(〇〇〇〇〇〇〇〇工事)

分類	評価項目	評価内容	評価基準	評価点数	
(A)	技術提案	工事内容に応じて設定	必要な項目を適宜設定	15.0	
(B) 企業の技術力	(a) 同種工事の施工実績の有無 〔発注の発注日から入札の申し込みを行った日(平成〇年度)まで〕	過去20年間に企業が元請けとして同種工事の施工実績を有しているか?	(甲) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5	
			(甲) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0	
		上記以外	0.0		
	(b) 工事成績 〔業種：〇〇工事〕 〔平成〇年度から平成〇年度〕	福井県が発注する工事（県の工事成績評定を有しない場合は、近畿地方整備局が発注する工事）の過去5か年度の企業の工事成績評定点の平均点が一定の点数を満たしているか?	8.0点以上 7.0点以上 8.0点未満 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3+0.5 7.0点未満	3.5 0.5～ 3.2 0.0	
6・0点	(c) 優良工事表彰 〔業種：〇〇工事〕 〔平成〇年度表彰、平成〇年度表彰〕	過去2年間における福井県の優良工事表彰の有無	優良工事表彰受賞による加点申請あり 優良工事表彰受賞による加点申請なし(または受賞なし)	0.5 0.0	
			IS9001認証を取得しているか?	IS9001認証を取得している 上記以外	0.5 0.0
	3・5点	(a) 同種工事の施工経験の有無 〔平成〇年4月1日から入札の申し込みを行った日(平成〇年度)まで〕	配置予定技術者が過去20年間の同種工事において元請け企業の監理技術者等としての施工経験を有しているか?	(甲) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの	1.5
				(甲) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの	1.0
		上記以外	0.0		
(b) 配置予定技術者の保有する資格		配置予定技術者の保有する資格	1級〇〇工事施工管理技士の資格を保有 上記以外	1.0 0.0	
技術力の	(c) 若手担当技術者の常駐	専任の監理技術者等の下で、一級〇〇施工管理技士を有する若手担当技術者を常駐	若手担当技術者の常駐 上記以外	0.5 0.0	
			(d) 優良工事表彰受賞経験 〔業種：〇〇工事〕 〔平成〇年度表彰、平成〇年度表彰〕	過去2年間における福井県の優良工事表彰を受賞した工事の監理技術者等としての経験の有無	優良工事表彰受賞の経験による加点申請あり 優良工事表彰受賞の経験による加点申請なし(または受賞なし)
	(D) 企業の地域性、社会性	(a) 地域精通度	主たる営業所の所在地	〇〇市(町)に主たる営業所あり 〔〇〇土木事務所管内に主たる就業所あり〕 〇〇土木事務所管内に主たる営業所あり 〔福井県内に主たる営業所あり〕 上記以外	2.5 1.0 0.0
			(b) 社会貢献度	福井県または福井県内の市町のいずれかとの緊急災害時等における災害協定締結の有無	災害協定の締結あり 災害協定の締結なし
(c) 地域貢献度			福井県との県有建築物に係る緊急災害時の災害協定の有無※1	災害協定の締結あり 災害協定の締結なし	1.0 0.0
(d) 県内企業および県産品の活用		(1) 県内企業の活用 ①～③のいずれかを満たす場合に評価する ① 元請企業が「「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する。 ② 「「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する。 ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種(別紙1)」を除く工種」の全てを自ら施工する。 (2) 使用資材の福井県産品活用(福井県内で生産された資材を含む) 発注者指定の品目(別紙2)のうち〇〇品目以上に県産品を活用する	(1)および(2)を満たす 上記以外	0.5 0.0	
満点		技術提案を求める標準型 技術提案を求めない簡易型	29.5 14.5		

〔注〕 1. 加点評価を行った評価項目の履行確保の方法については別記1のとおりとする。  
2. 優良工事表彰の受賞による加点申請については種々の制限があるため、「公共工事における総合評価落札方式の手引き」を熟読の上、入札を行うこと。  
3. 技術提案において、同一内容の提案が複数あった場合は、最も加点の大きい一つの提案のみを評価する。  
※1 管工事においては県有機械設備に係る協定、電気工事および電気通信工事においては県有電気設備に係る協定、機械器具設置工事および消防施設工事においては県有機械設備または県有電気設備に係る協定に限る。

様式第4号の2  
(建築一式工事)

技術資料自己評価申請書

工事名 ○○○○○○○○工事  
工事場所 ○○市○○

Table with columns for company technical strength, regional/social contribution, and digital construction technology. Includes sub-sections for Form No. 9, Form No. 9/10/10-2, Form No. 9, and Form No. 11.

Score table with columns for maximum, minimum, and average scores across various categories. Includes a note: (平均点は少数点第1位を切捨てた整数で入力のこと)

注意

- 事後審査型の案件において、入札公告に従い、入札書と同時に提出する。
・入札公告に添付された評価基準表に従い、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
・評価対象となっていない項目については空欄とすること。
・様式の改変は行わず、黄色着色の箇所のみ記入し、入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。
・入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、福井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZ形式またはZ1P形式により圧縮すること。
・入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、入札参加資格確認資料と併せて、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。
・様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。不整合があった項目は、加点しないことがある。

Table with 3 rows and 2 columns. Row 1: 例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの. Row 2: 例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの. Row 3: 例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の60%以上であったもの.

様式第4号の2  
(建築一式工事)

技術資料自己評価申請書

工事名 ○○○○○○○○工事  
工事場所 ○○市○○

Table with columns for company technical strength, regional/social contribution, and digital construction technology. Includes sub-sections for Form No. 9, Form No. 9/10/10-2, Form No. 9, and Form No. 11.

Score table with columns for maximum, minimum, and average scores across various categories. Includes a note: (平均点は少数点第1位を切捨てた整数で入力のこと)

注意

- 事後審査型の案件において、入札公告に従い、入札書と同時に提出する。
・入札公告に添付された評価基準表に従い、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
・評価対象となっていない項目については空欄とすること。
・様式の改変は行わず、黄色着色の箇所のみ記入し、入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。
・入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、福井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZ形式またはZ1P形式により圧縮すること。
・入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、入札参加資格確認資料と併せて、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。
・様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。不整合があった項目は、加点しないことがある。

Table with 3 rows and 2 columns. Row 1: 例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの. Row 2: 例) 施工実績のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの. Row 3: 例) 施工経験のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の60%以上であったもの.

様式第4号の2  
(法面処理工事)

技術資料自己評価申請書

工事名 ○○○○○法面工事  
工事場所 ○○○地区 ○○市○○

企業名	企業の技術力										企業の地域性・社会性						配置予定技術者						技術評価点
	様式第9号					様式第9・10号					様式第9号						様式第11号						
	施工実績の有無	ISO認証の有無	技能資格を保有する自任担当技術者の配置の有無	工事成績	地域精通度	社会貢献度	県産品および県産品の活用	施工経験の有無	保有資格	若手担当技術者常駐の有無	優良工事 加算申請の有無	小計	施工経験の有無	保有資格	若手担当技術者常駐の有無	優良工事 加算申請の有無	小計	合計					
有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	件数	平均 (1年以内)	加算点	主たる 営業所	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点			

最大	※1	1.5	有	0.5	有	0.5	80点以上	3.5	○○市	2.5	有	1.0	有	0.5	10.5	※1	1.5	有	1.0	有	0.5	有	0.5	3.5	14.0
※2	1.0						(工事成績評定点の 算出基準) 68.5点 以上	～	○○ 土木管 内	1.0						※2	1.0								0.0
最小	その他	0.0	無	0.0	無	0.0	70点未満	0.0	その他	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	その他	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	0.0

記載例

例○○○	※2	1.0	有	0.5	有	0.5	7	79	3.2	○○市	2.5	有	1.0	有	0.5	8.7	※2	1.0	有	1.0	有	0.5	無	0.0	2.5	11.2
------	----	-----	---	-----	---	-----	---	----	-----	-----	-----	---	-----	---	-----	-----	----	-----	---	-----	---	-----	---	-----	-----	------

自己評価点

例○○○									0.0																0.0	0.0
------	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	-----

注意

- 事後審査型の案件において、入札公告に従い、入札書と同時に提出する。
- 入札公告に添付された評価基準表に従い、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
- 評価対象となっていない項目については空欄とすること。
- 様式の改変は行わず、黄色着色の箇所のみ記入し、入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。なお、ファイル名には企業名称を含めること。
- 入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、福井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZH形式またはZ1P形式により圧縮すること。
- 入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、入札参加資格確認資料と併せて、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。
- 様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。不整合があった項目は、加点しないことがある。

※1	施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの
※2	施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの

様式第4号の2  
(法面処理工事)

技術資料自己評価申請書

工事名 ○○○○○法面工事  
工事場所 ○○○地区 ○○市○○

企業名	企業の技術力										企業の地域性・社会性						配置予定技術者						技術評価点
	様式第9号					様式第9・10号					様式第9号						様式第11号						
	施工実績の有無	ISO認証の有無	技能資格を保有する自任担当技術者の配置の有無	工事成績	地域精通度	社会貢献度	県産品および県産品の活用	施工経験の有無	保有資格	若手担当技術者常駐の有無	優良工事 加算申請の有無	小計	施工経験の有無	保有資格	若手担当技術者常駐の有無	優良工事 加算申請の有無	小計	合計					
有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	件数	平均 (1年以内)	加算点	主たる 営業所	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点			

最大	※1	1.5	有	0.5	有	0.5	80点以上	3.5	○○市	2.5	有	1.0	有	0.5	10.0	※1	1.5	有	1.0	有	0.5	有	0.5	3.0	13.0
※2	1.0						(工事成績評定点の 算出基準) 68.5点 以上	～	○○ 土木管 内	1.0						※2	1.0								0.0
最小	その他	0.0	無	0.0	無	0.0	70点未満	0.0	その他	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	その他	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	0.0

記載例

例○○○	※2	1.0	有	0.5	有	0.5	7	79	3.2	○○市	2.5	有	1.0	有	0.5	8.7	※2	1.0	有	1.0	有	0.5	無	0.0	2.5	11.2
------	----	-----	---	-----	---	-----	---	----	-----	-----	-----	---	-----	---	-----	-----	----	-----	---	-----	---	-----	---	-----	-----	------

自己評価点

例○○○									0.0																0.0	0.0
------	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	-----

注意

- 事後審査型の案件において、入札公告に従い、入札書と同時に提出する。
- 入札公告に添付された評価基準表に従い、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
- 評価対象となっていない項目については空欄とすること。
- 様式の改変は行わず、黄色着色の箇所のみ記入し、入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。なお、ファイル名には企業名称を含めること。
- 入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、福井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZH形式またはZ1P形式により圧縮すること。
- 入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、入札参加資格確認資料と併せて、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。
- 様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。不整合があった項目は、加点しないことがある。

※1	施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの
※2	施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの

技術資料自己評価申請書

工事名 ○○○○○○舗装工事  
 工事場所 ○○○○線 ○○市○○

企業名	企業の技術力										企業の地域性・社会性								配置予定技術者						技術評価点				
	様式第9号					様式第9・10号					様式第9号								様式第11号										
	施工実績の有無		追加点		有無	ISO認証有無		工事成績			地域精通度		社会貢献度		地域貢献度		県内企業および県産品の活用		施工経験の有無		保有資格		若手担当技術者常駐の有無			追加点			
	有無	加算点	有無	加算点	件数	平均 (小計-1位以内)	加算点	主たる 営業所	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	小計	合計

最大	※1	1.5	有	0.5	80点以上	3.5	実施市町村	2.5	有	1.0	グレーダ有	1.0	有	0.5	11.0	※1	1.5	有	1級舗装	1.0	有	0.5	追加点	追加点	3.5	14.5	
					70~79点 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3+0.5		土木管内	1.0			有	0.5							有	二級舗装	0.5						
最小	その他	0.0	無	0.0	70点未満	0.0	その他	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	0.0

例	※2	1.0	有	0.5	7	79	3.2	○○市	2.5	有	1.0	グレーダ有	1.0	有	0.5	10.2	※2	1.0	有	1級舗装	0.5	有	0.5	追加点	追加点	2.0	12.2
---	----	-----	---	-----	---	----	-----	-----	-----	---	-----	-------	-----	---	-----	------	----	-----	---	------	-----	---	-----	-----	-----	-----	------

自己評価点	0.0																											
-------	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

注意

- 事後審査型の案件において、入札公告に従い、入札書と同時に提出する。
- 入札公告に添付された評価基準表に従い、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
- 評価対象となっていない項目については空欄とすること。
- 様式の改変は行わず、黄色着色の箇所のみ記入し、入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。なお、ファイル名には企業名称を含めること。
- 入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、福井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZH形式またはZ1P形式により圧縮すること。
- 入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、入札参加資格確認資料と併せて、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。
- 様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。不整合があった項目は、加算しないことがある。

※1	施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の60%以上であったもの
----	--

技術資料自己評価申請書

工事名 ○○○○○○舗装工事  
 工事場所 ○○○○川 ○○市○○

企業名	企業の技術力										企業の地域性・社会性								配置予定技術者						技術評価点				
	様式第9号					様式第9・10号					様式第9号								様式第11号										
	施工実績の有無		追加点		有無	ISO認証有無		工事成績			地域精通度		社会貢献度		地域貢献度		県内企業および県産品の活用		施工経験の有無		保有資格		若手担当技術者常駐の有無			追加点			
	有無	加算点	有無	加算点	件数	平均 (小計-1位以内)	加算点	主たる 営業所	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	小計	合計

最大	※1	1.5	有	0.5	80点以上	3.5	実施市町村	2.5	有	1.0	グレーダ有	1.0	有	0.5	10.5	※1	1.5	有	1級舗装	1.0	有	0.5	追加点	追加点	3.0	13.5	
					70~79点 (工事成績評定点の平均点-70) × 0.3+0.5		土木管内	1.0			有	0.5							有	二級舗装	0.5						
最小	その他	0.0	無	0.0	70点未満	0.0	その他	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	0.0

例	※2	1.0	有	0.5	7	79	3.2	○○市	2.5	有	1.0	グレーダ有	1.0	有	0.5	9.2	※2	1.0	有	1級舗装	0.5	有	0.5	追加点	追加点	2.0	11.2
---	----	-----	---	-----	---	----	-----	-----	-----	---	-----	-------	-----	---	-----	-----	----	-----	---	------	-----	---	-----	-----	-----	-----	------

自己評価点	0.0																											
-------	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

注意

- 事後審査型の案件において、入札公告に従い、入札書と同時に提出する。
- 入札公告に添付された評価基準表に従い、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
- 評価対象となっていない項目については空欄とすること。
- 様式の改変は行わず、黄色着色の箇所のみ記入し、入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。なお、ファイル名には企業名称を含めること。
- 入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、福井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZH形式またはZ1P形式により圧縮すること。
- 入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、入札参加資格確認資料と併せて、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。
- 様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。不整合があった項目は、加算しないことがある。

※1	施工実績（経験）のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の60%以上であったもの
----	--

様式第4号の2

(管・電気・電気通信・機械器具設置・消防施設工事) (管轄系を除く)

技術資料自己評価申請書

工事名 ○○○○○○○○工事

工事場所 ○○○○市○○

Table with columns for company technical ability, regional/social characteristics, and designated technician configuration. Includes sub-tables for '企業名' and '小計'.

Score table with columns for '最大' (Max), '※1', '※2', and '最小' (Min) across various evaluation criteria.

Record table (記載欄) with columns for '※1', '※2', and other evaluation items.

Self-evaluation table (自己評価点) with columns for '※1', '※2', and other evaluation items.

注意

- List of notes regarding application procedures, evaluation criteria, and document requirements.

Table with 2 columns: '※1' and '※2' with corresponding descriptions of evaluation criteria.

様式第4号の2 (管・電気・電気通信・機械器具設置・消防施設工事)

技術資料自己評価申請書

工事名 ○○○○○○○○工事

工事場所 ○○○○市○○

Table with columns for company technical ability, regional/social characteristics, and designated technician configuration. Includes sub-tables for '企業名' and '小計'.

Score table with columns for '最大' (Max), '※1', '※2', and '最小' (Min) across various evaluation criteria.

Record table (記載欄) with columns for '※1', '※2', and other evaluation items.

Self-evaluation table (自己評価点) with columns for '※1', '※2', and other evaluation items.

注意

- List of notes regarding application procedures, evaluation criteria, and document requirements.

Table with 2 columns: '※1' and '※2' with corresponding descriptions of evaluation criteria.



様式第4号の2

(管・電気・電気通信・機械器具設置・消防施設工事) (富井系)

技術資料自己評価申請書

工事名 ○○○○○○○○工事  
 工事場所 ○○○○市○○

企業名	企業の技術力											企業の地域性・社会性											配置予定技術者								技術評価点 合計	
	様式第9号						様式第9・10号					様式第9号						様式第11号														
	施工実績の有無		優良工事 加点申請の有無		ISO認証の有無		工事実績					地域貢献度		社会貢献度		地域貢献度		県内企業および県 産品の活用		小計		施工経験の有無		保有資格		若手担当技術者常駐 の有無		優良工事 加点申請の有無		小計		
	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	件数	平均 (小数第一位四捨五入)	加算点	主たる 事業所	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無	加算点	資格名	加算点	有無	加算点	有無	加算点	有無		加算点

最大	※1	1.5	有	0.5	有	0.5		80点以上	3.5	○○市	2.5	有	1.0	有	1.0	有	0.5	11.0	※1	1.5	一級管	1.0	有	0.5	有	0.5	3.5	14.5
	※2	1.0						70~79点 (工事実績評価点の 算出基準) 60.0以上	~	○○ 市管内	1.0								※2	1.0								~
最小	その他	0.0	無	0.0	無	0.0		70点未満	0.0	その他	0.0	無	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	その他	0.0	その他	0.0	無	0.0	無	0.0	0.0	0.0

記載例

〒○○○	※2	1.0	無	0.0	有	0.5	6	75	2.0	○○市	2.5	無	0.0	有	1.0	有	0.5	7.5	※2	1.0	一級管	1.0	有	0.5	無	0.0	2.5	10.0
------	----	-----	---	-----	---	-----	---	----	-----	-----	-----	---	-----	---	-----	---	-----	-----	----	-----	-----	-----	---	-----	---	-----	-----	------

自己評価点

〒○○○									0.0										0.0									0.0	0.0
------	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	-----

- 注意
- 事後審査型の案件において、入札公告に従い、入札書と同時に提出する。
  - 入札公告に添付された評価基準表に従い、様式第9号～第11号を作成した後に、記入すること。
  - 評価対象となっていない項目については空欄とすること。
  - 【『地域貢献度』(様式第9号)の項目については、「福井県との県有建築物に係る緊急災害時の災害協定」の有無を記載すること。
  - 様式の改変は行わず、黄色着色の箇所のみ記入し、入札公告に添付されたエクセルのまま提出すること。なお、ファイル名には企業名称を含めること。
  - 入札書の提出に際し、エクセル以外のファイル形式となる書類を添付する必要がある場合は、福井県電子入札運用基準第8条に基づき、LZH形式またはZ1P形式により圧縮すること。
  - 入札参加資格確認申請書提出依頼を受けた者のみが、入札参加資格確認資料と併せて、様式第9号～11号および添付資料を提出すること。
  - 様式第4号の2と様式第9号～11号の記載内容に不整合がないよう、十分に注意して作成すること。不整合があった項目は、加算しないことがある。

※1	施工実績(経験)のある同種工事の施工規模が、当該発注規模以上であったもの
※2	施工実績(経験)のある同種工事の施工規模が、当該発注規模の80%以上100%未満であったもの

企業の技術力および地域性・社会性

施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)			
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号)		
	発注機関名	○○○○○○		
	工事場所	○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線		
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)		
	工期	平成○年○月○日 ~ 平成○年○月○日		
工事概要	○○			
工事成績評価	件数	件	平均点(小数点第1位切捨て)	点
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する 表彰年度( ) 表彰名( ) 工事名称( ) <input type="checkbox"/> 加点申請しない			
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地( )		
	広域防災への取組の有無(*)	(土木一式工事の場合のみ評価する) <input type="checkbox"/> 取組あり <input type="checkbox"/> 取組なし		
	災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	除雪契約の有無(*)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外			
指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する <input type="checkbox"/> 上記以外			

注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し、除雪等の契約書の写し)を添付資料として提出すること。  
 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。  
 ・(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。)  
 ・福井県の工事成績評価を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。  
 ・(\*)は該当する箇所にもとマークすること。マークのない場合は評価しない。  
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価簿様式実務要領」および「公共工事における総合評価簿様式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O/O]

企業の技術力および地域性・社会性

施工実績を評価する基準	過去15年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)			
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号)		
	発注機関名	○○○○○○		
	工事場所	○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線		
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)		
	工期	平成○年○月○日 ~ 平成○年○月○日		
工事概要	○○			
工事成績評価	件数	件	平均点(小数点第1位切捨て)	点
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する 表彰年度( ) 表彰名( ) 工事名称( ) <input type="checkbox"/> 加点申請しない			
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地( )		
	広域防災への取組の有無(*)	(土木一式工事の場合のみ評価する) <input type="checkbox"/> 取組あり <input type="checkbox"/> 取組なし		
	災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	除雪契約の有無(*)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外			
指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する <input type="checkbox"/> 上記以外			

注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し、除雪等の契約書の写し)を添付資料として提出すること。  
 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。  
 ・(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。)  
 ・福井県の工事成績評価を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。  
 ・(\*)は該当する箇所にもとマークすること。マークのない場合は評価しない。  
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価簿様式実務要領」および「公共工事における総合評価簿様式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O/O]

企業の技術力および地域性・社会性

施工実績を評価する基準		過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)	
同種工事の名称等	工事名称	〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号(登録がある場合))	
	発注機関名	〇〇〇〇〇〇	
	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇	
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)	
	工期	平成〇年〇月〇日 ~ 平成〇年〇月〇日	
工事概要		〇〇	
工事成績評定		件数	件 平均点(小数点第1位切捨て) 点
県の工事成績評定を有しない場合で、建築基準法に適合していることを証明できる民間工事等の実績(*)		<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
優良工事表彰受賞による加点申請(*)		<input type="checkbox"/> 加点申請する 表彰年度( ) <input type="checkbox"/> 表彰名( ) <input type="checkbox"/> 工事名称( )	
ISO9001 認証取得(*)		<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地( )	
	災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
	福井県震災建築物応急危険度判定士の有無(*)	<input type="checkbox"/> 有(3名以上) ・ <input type="checkbox"/> 有(2名) ・ <input type="checkbox"/> 1名または無	
	福井県との県有建築物に係る緊急災害協定の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
	指定工種を除く工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ① 元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ② 「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外	
指定品目数以上の県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 活用する(品目以上) ・ <input type="checkbox"/> 活用しない		

注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し、福井県震災建築物応急危険度判定士認定証および健康保険証の写し)を添付資料として提出すること。  
 ・福井県の工事成績評定を有しない場合は、次の①、②のいずれかによる申請が可能。  
 ①県の工事成績評定を用いる場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。  
 ②民間工事等の実績を用いる場合は、該当箇所にマークし、様式第10号の2を併せて提出すること。  
 ・県産品の活用は、発注者が指定する品目数以上において県産品を活用する場合に評価する。様式第9号の4を添付すること。  
 ・(\*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。  
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価選考方式実施要領」および「公共工事における総合評価選考方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O/O]

企業の技術力および地域性・社会性

施工実績を評価する基準		過去15年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)	
同種工事の名称等	工事名称	〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号(登録がある場合))	
	発注機関名	〇〇〇〇〇〇	
	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇	
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)	
	工期	平成〇年〇月〇日 ~ 平成〇年〇月〇日	
工事概要		〇〇	
工事成績評定		件数	件 平均点(小数点第1位切捨て) 点
県の工事成績評定を有しない場合で、建築基準法に適合していることを証明できる民間工事等の実績(*)		<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
優良工事表彰受賞による加点申請(*)		<input type="checkbox"/> 加点申請する 表彰年度( ) <input type="checkbox"/> 表彰名( ) <input type="checkbox"/> 工事名称( )	
ISO9001 認証取得(*)		<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地( )	
	災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
	福井県震災建築物応急危険度判定士の有無(*)	<input type="checkbox"/> 有(3名以上) ・ <input type="checkbox"/> 有(2名) ・ <input type="checkbox"/> 1名または無	
	指定工種を除く工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ① 元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ② 「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外	
	指定品目数以上の県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 活用する(品目以上) ・ <input type="checkbox"/> 活用しない	

注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し、福井県震災建築物応急危険度判定士認定証および健康保険証の写し)を添付資料として提出すること。  
 ・福井県の工事成績評定を有しない場合は、次の①、②のいずれかによる申請が可能。  
 ①県の工事成績評定を用いる場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。  
 ②民間工事等の実績を用いる場合は、該当箇所にマークし、様式第10号の2を併せて提出すること。  
 ・県産品の活用は、発注者が指定する品目数以上において県産品を活用する場合に評価する。様式第9号の4を添付すること。  
 ・(\*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。  
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価選考方式実施要領」および「公共工事における総合評価選考方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O/O]

企業の技術力および地域性・社会性

施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)		
同種工事の名称等	工事名称	〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)	
	発注機関名	〇〇〇〇〇〇	
	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 一般県道〇〇〇〇〇線	
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)	
	工期	平成〇年〇月〇日 ~ 平成〇年〇月〇日	
	工事概要	〇〇	
工事成績評定	件数	件	平均点(小数点第1位切捨て) 点
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 ( ) 表彰名 ( ) 工事名称 ( )		
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*)	<input type="checkbox"/> 主たる鉄工作業のすべてを元請け企業が自ら施工し、かつ、その主たる鉄工作業の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士(構造物鉄工作業)」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事する <input type="checkbox"/> 上記以外		
	自社雇用技能者の氏名	技能検定合格証の取得年・番号	
	〇〇 〇〇	平成〇〇年 〇〇〇〇号	
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地 ( )	
	災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	
	指定工事における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工事」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工事」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工事」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外	
指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 上記以外		

注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、自社雇用技能者の健康保険証、技能検定合格証、災害協定の証明写真)を添付資料として提出すること。  
 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。  
 ・(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。)  
 ・福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。  
 ・(\*)は該当する箇所にもとマークすること。マークのない場合は評価しない。  
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価開札方式実施要領」および「公共工事における総合評価開札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O / O]

企業の技術力および地域性・社会性

施工実績を評価する基準	過去15年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)		
同種工事の名称等	工事名称	〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)	
	発注機関名	〇〇〇〇〇〇	
	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 一般県道〇〇〇〇〇線	
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)	
	工期	平成〇年〇月〇日 ~ 平成〇年〇月〇日	
	工事概要	〇〇	
工事成績評定	件数	件	平均点(小数点第1位切捨て) 点
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 ( ) 表彰名 ( ) 工事名称 ( )		
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(*)	<input type="checkbox"/> 主たる鉄工作業のすべてを元請け企業が自ら施工し、かつ、その主たる鉄工作業の作業期間のすべてに「1級鉄工技能士(構造物鉄工作業)」の資格を保有する自社雇用技能者が1名以上従事する <input type="checkbox"/> 上記以外		
	自社雇用技能者の氏名	技能検定合格証の取得年・番号	
	〇〇 〇〇	平成〇〇年 〇〇〇〇号	
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地 ( )	
	災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	
	指定工事における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工事」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工事」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工事」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外	
指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 上記以外		

注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、自社雇用技能者の健康保険証、技能検定合格証、災害協定の証明写真)を添付資料として提出すること。  
 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。  
 ・(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。)  
 ・福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。  
 ・(\*)は該当する箇所にもとマークすること。マークのない場合は評価しない。  
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価開札方式実施要領」および「公共工事における総合評価開札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O / O]

企業の技術力および地域性・社会性

施工実績を評価する基準		過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)			
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号)			
	発注機関名	○○○○○○			
	工事場所	○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線			
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)			
	工期	平成○年○月○日 ~ 平成○年○月○日			
	工事概要	○○			
工事成績評定	件数	件	平均点(小数点第1位切捨て)	点	
優良工事表彰受賞による加点申請(+)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度( ) 表彰名( ) 工事名称( )				
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無				
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地( )			
	災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			
	除雪契約の有無(*)	<input type="checkbox"/> 自社保有グレーダによる契約あり ・ <input type="checkbox"/> その他契約あり ・ <input type="checkbox"/> 無			
	指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外			
指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 上記以外				

注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し、除雪等の契約書の写し)を添付資料として提出すること。  
 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。  
 ・(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。)  
 ・福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。  
 ・(\*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。  
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価選考方式実施要領」および「公共工事における総合評価選考方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O/O]

企業の技術力および地域性・社会性

施工実績を評価する基準		過去15年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)			
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号)			
	発注機関名	○○○○○○			
	工事場所	○○県○○市○○町○○ 一般県道○○○○○線			
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)			
	工期	平成○年○月○日 ~ 平成○年○月○日			
	工事概要	○○			
工事成績評定	件数	件	平均点(小数点第1位切捨て)	点	
ISO9001 認証取得(+)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無				
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地( )			
	災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			
	除雪契約の有無(*)	<input type="checkbox"/> 自社保有グレーダによる契約あり ・ <input type="checkbox"/> その他契約あり ・ <input type="checkbox"/> 無			
	指定工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外			
指定資材における県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 上記以外				

注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し、除雪等の契約書の写し)を添付資料として提出すること。  
 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。  
 ・(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。)  
 ・福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。  
 ・(\*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。  
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価選考方式実施要領」および「公共工事における総合評価選考方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O/O]

企業の技術力および地域性・社会性

施工実績を評価する基準	過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)		
同種工事の名称等	工事名称	〇〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)	
	発注機関名	〇〇〇〇〇〇	
	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 一般県道〇〇〇〇〇線	
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)	
	工期	平成〇年〇月〇日 ~ 平成〇年〇月〇日	
工事概要	〇〇		
工事成績評価	件数	件	平均点(小数点第1位切捨て) 点
優良工事表彰受賞による加点申請(※)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度( ) 表彰名( ) 工事名称( )		
ISO9001 認証取得(※)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(※)	<input type="checkbox"/> 発注者が指定する工種におけるノズルによる吹付作業の作業期間のすべてに「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事する <input type="checkbox"/> 上記以外		
(※当該評価項目の加点を申請する場合は、様式第3号の2に記載した者(ノズルマン)のうち、「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する者を(1名以上)記載すること)	自社雇用技能者の氏名	資格者証の取得年・番号	
	〇〇 〇〇	平成〇〇年 〇〇〇〇号	
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地( )	
	災害協定の締結(※)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	
	指定工種における県内企業の活用(※)	<input type="checkbox"/> 次の①～③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外	
	指定資材における県産品の活用(※)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 上記以外	

注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、自社雇用技能者の健康保険証、資格者証、災害協定の証明書写し)を添付資料として提出すること。  
 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。)  
 ・福井県の工事成績評価を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。  
 ・(※)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。  
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価選札方式実施要綱」および「公共工事における総合評価選札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。  
 ・「技能資格を保有する自社雇用技能者の配置」については、当様式に記載した者(のうち最低1名以上)が様式第3号の2においてノズルマンとして記載されていないなど、様式第3号の2と矛盾する場合は評価しないので注意すること。

[P O/O]

企業の技術力および地域性・社会性

施工実績を評価する基準	過去15年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)		
同種工事の名称等	工事名称	〇〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)	
	発注機関名	〇〇〇〇〇〇	
	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 一般県道〇〇〇〇〇線	
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)	
	工期	平成〇年〇月〇日 ~ 平成〇年〇月〇日	
工事概要	〇〇		
工事成績評価	件数	件	平均点(小数点第1位切捨て) 点
ISO9001 認証取得(※)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
技能資格を保有する自社雇用技能者の配置(※)	<input type="checkbox"/> 発注者が指定する工種におけるノズルによる吹付作業の作業期間のすべてに「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する自社雇用ノズルマンが1名以上従事する <input type="checkbox"/> 上記以外		
(※当該評価項目の加点を申請する場合は、様式第3号の2に記載した者(ノズルマン)のうち、「のり面ノズルマン技能認定者」の資格を保有する者を(1名以上)記載すること)	自社雇用技能者の氏名	資格者証の取得年・番号	
	〇〇 〇〇	平成〇〇年 〇〇〇〇号	
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地( )	
	災害協定の締結(※)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	
	指定工種における県内企業の活用(※)	<input type="checkbox"/> 次の①～③のいずれかを満たす ①元請企業が「発注者が指定する工種」の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ②「発注者が指定する工種」の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外	
	指定資材における県産品の活用(※)	<input type="checkbox"/> 全てを活用する ・ <input type="checkbox"/> 上記以外	

注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、自社雇用技能者の健康保険証、資格者証、災害協定の証明書写し)を添付資料として提出すること。  
 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。)  
 ・福井県の工事成績評価を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。  
 ・(※)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。  
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価選札方式実施要綱」および「公共工事における総合評価選札方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。  
 ・「技能資格を保有する自社雇用技能者の配置」については、当様式に記載した者(のうち最低1名以上)が様式第3号の2においてノズルマンとして記載されていないなど、様式第3号の2と矛盾する場合は評価しないので注意すること。

[P O/O]

企業の技術力および地域性・社会性

施工実績を評価する基準		過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)		
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号(登録がある場合))		
	発注機関名	○○○○○○		
	工事場所	○○県○○市○○町○○		
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)		
	工期	平成○年○月○日 ~ 平成○年○月○日		
	工事概要	○○		
工事成績評定	件数	件	平均点(小数点第1位切捨て)	点
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度( ) 表彰名( ) 工事名称( )			
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地( )		
	災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
	消雪設備点検契約の有無(*)	(管工事の場合に記入) <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
	指定工種を除く工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ① 元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ② 「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外		
発注者指定品目のうち指定品目数以上の県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 活用する( 品以上) ・ <input type="checkbox"/> 活用しない			

注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し、消雪設備点検契約書の写し(管工事のみ)の写し)を添付資料として提出すること。  
 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。  
 (CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。)  
 ・福井県の上乗成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。  
 ・(\*)は該当する箇所にもとマークすること。マークのない場合は評価しない。  
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価選礼方式実施要領」および「公共工事における総合評価選礼方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O/O]

企業の技術力および地域性・社会性

施工実績を評価する基準		過去15年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)		
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号(登録がある場合))		
	発注機関名	○○○○○○		
	工事場所	○○県○○市○○町○○		
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)		
	工期	平成○年○月○日 ~ 平成○年○月○日		
	工事概要	○○		
工事成績評定	件数	件	平均点(小数点第1位切捨て)	点
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度( ) 表彰名( ) 工事名称( )			
ISO9001 認証取得(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地( )		
	災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
	消雪設備点検契約の有無(*)	(管工事(営業系を除く)の場合に記入) <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
	指定工種を除く工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ① 元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ② 「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外		
発注者指定品目のうち指定品目数以上の県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 活用する( 品以上) ・ <input type="checkbox"/> 活用しない			

注意 上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、契約書、施工図面、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の証明書写し、消雪設備点検契約書の写し)を添付資料として提出すること。  
 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。  
 (CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。)  
 ・福井県の工事成績評定を有しない場合で国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。  
 ・(\*)は該当する箇所にもとマークすること。マークのない場合は評価しない。  
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価選礼方式実施要領」および「公共工事における総合評価選礼方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O/O]

(様式第9号)(管轄系の管、電気、電気通信、機械器具設置、消防施設工事に用) (用紙A4)

**企業の技術力および地域性・社会性**

施工実績を評価する基準		過去20年間に、元請けとして完成・引渡しが完了した同種工事の施工実績を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)	
同種工事の名称等	工事名称	○○○○○工事 (CORINS登録番号(登録がある場合))	
	発注機関名	○○○○○○	
	工事場所	○○県○○市○○町○○	
	契約金額	(最終の請負金額(税込)を記入する。)	
	工期	平成○年○月○日 ~ 平成○年○月○日	
	工事概要	○○	
工事成績評定	件数	_____件	平均点(小数点第1位切捨て) _____点
優良工事表彰受賞による加点申請(+)。	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度( ) 表彰名( ) 工事名称( )		
ISO9001 認証取得(+)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
企業の地域性・社会性	主たる営業所の所在地	主たる営業所の所在地( )	
	災害協定の締結(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	
	福井県との県有屋敷物に係る緊急災害時の災害協定の有無(*)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 <small>※管工事においては県有機械設備に係る協定、電気工事および電気通信工事においては県有電気設備に係る協定、機械器具設置工事および消防施設工事中においては県有機械設備または県有電気設備に係る協定に限る。</small>	
	指定工種を除く工種における県内企業の活用(*)	<input type="checkbox"/> 次の①~③のいずれかを満たす ① 元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用する ② 「発注者が指定する工種」を除く工種の全てについて、県内に主たる営業所を有する元請企業が、その一部を県内に主たる営業所を有する企業を下請企業として活用し、残りを自ら施工する ③ 県内に主たる営業所を有する元請企業が「発注者が指定する工種」を除く工種の全てを自ら施工する <input type="checkbox"/> 上記以外	
発注者指定品目のうち指定品目数以上の県産品の活用(*)	<input type="checkbox"/> 活用する( _____品以上) ・ <input type="checkbox"/> 活用しない		

注 記 上記記載の内容及び添付する資料(CORINS工力ルネ、契約書、施工計画、設計書、ISO9001の認証等の写し、災害協定の印紙書写し)を添付資料として提出すること。  
 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付資料として提出すること。  
 ・(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を提出すること。)  
 ・福井県の工事成績評定を有しない場合は国の成績を有する場合は、国の成績の件数および平均点を記入した上で、様式第10号を併せて提出すること。  
 ・(\*)は該当する箇所に■とマークすること。マークのない場合は評価しない。  
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価格付方式実施要領」および「公共工事における総合評価格付方式の手引き」等を参照の上、作成すること。

[P O / O]



主任(監理)技術者の資格・工事経験

配置予定技術者の従事役職・氏名・生年月日・年齢	〇〇技術者 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年 〇月 〇日生 (〇〇歳)	
最終学歴	〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒業	
法令による資格・免許等	1級土木施工管理技士 (取得年および登録番号) 1級建築士 (取得年および登録番号) 1級建築施工管理技士 (取得年および登録番号) 監理技術者資格 (取得年、有効期限、登録番号および登録会社) 監理技術者講習 (取得年、修了証番号) 〇〇〇〇〇 (取得年および登録番号等)	
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 ( ) 表彰名 ( ) 工事名称 ( ) 受賞工事における従事役職 ( )	
施工経験を評価する基準	過去20年間に、元請け企業の主任(監理)技術者、または元請け企業の若手担当技術者(福井県が発行した若手担当技術者従事経験証明書がある者に限る)として完成・引渡しが完了した同種工事に従事した経験を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)	
同種工事の名称等(1件のみ)	工事名称	〇〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)
	発注機関名	〇〇〇〇〇〇
	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇
	契約金額	〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 (最終の請負金額(税込)を記入する。)
	工期	平成〇年〇月〇日 ~ 平成〇年〇月〇日
若手担当技術者の常駐(*)	従事役職	〇〇技術者
	工事概要	〇〇〇〇
継続学習への取組み状況	専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生(〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等)	
	専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生(〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等)	
証明日	( 年 月 日 )	
取得単位数	( ) ユニットまたは単位	
証明書の期間	( ) 年間	

注意：上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、施工図面、設計書、資格者証、(社)全国土木施工管理技士会連合会(土木一式工事、機械造物工事の場合)、または(社)日本建築士連合会・建築CPD運営会議(建築一式工事の場合)の発行する学習履歴証明書等の写し)を添付すること。  
 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付すること。  
 ・(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を添付すること。)  
 ・同種工事の名称等に、若手担当技術者として従事した工事経験を記入する場合は、福井県が発行した若手担当技術者従事経験証明書の写しを併せて提出すること。  
 ・配置予定の技術者が特定できず、複数となる場合には、本様式の複数枚提出も可能とする。ただし、評価は、合計点の最低となる配置予定技術者とする。  
 ・なお、配置予定技術者を特定できず、複数枚提出する場合で、若手担当技術者の常駐を申請する場合は、配置予定技術者毎に常駐申請をすることができる若手担当技術者すべてを記載すること。  
 ・(\*)は該当する箇所を■とマークすること。マークのない場合は評価しない。  
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価簿礼方式実施要領」および「公共工事における総合評価簿礼方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O / O]

主任(監理)技術者の資格・工事経験

配置予定技術者の従事役職・氏名・生年月日・年齢	〇〇技術者 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年 〇月 〇日生 (〇〇歳)	
最終学歴	〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒業	
法令による資格・免許等	1級土木施工管理技士 (取得年および登録番号) 1級建築士 (取得年および登録番号) 1級建築施工管理技士 (取得年および登録番号) 監理技術者資格 (取得年、有効期限、登録番号および登録会社) 監理技術者講習 (取得年、修了証番号) 〇〇〇〇〇 (取得年および登録番号等)	
優良工事表彰受賞による加点申請(*)	<input type="checkbox"/> 加点申請する ・ <input type="checkbox"/> 加点申請しない 表彰年度 ( ) 表彰名 ( ) 工事名称 ( ) 受賞工事における従事役職 ( )	
施工経験を評価する基準	過去15年間に、元請け企業の主任(監理)技術者、または元請け企業の若手担当技術者(福井県が発行した若手担当技術者従事経験証明書がある者に限る)として完成・引渡しが完了した同種工事に従事した経験を有すること。(評価対象の同種工事を1件のみ記入)	
同種工事の名称等(1件のみ)	工事名称	〇〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)
	発注機関名	〇〇〇〇〇〇
	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇
	契約金額	〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 (最終の請負金額(税込)を記入する。)
	工期	平成〇年〇月〇日 ~ 平成〇年〇月〇日
若手担当技術者の常駐(*)	従事役職	〇〇技術者
	工事概要	〇〇〇〇
継続学習への取組み状況	専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生(〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等)	
	専任の監理技術者等のもとで若手担当技術者を常駐する 氏名・生年月日・年齢 〇〇 〇〇 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生(〇〇歳) 最終学歴 〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒 法令による資格・免許等 1級〇〇〇 (取得年および登録番号等)	
証明日	( 年 月 日 )	
取得単位数	( ) ユニットまたは単位	
証明書の期間	( ) 年間	

注意：上記記載の内容が確認できる資料(CORINS工事カルテ、施工図面、設計書、資格者証、(社)全国土木施工管理技士会連合会(土木一式工事、機械造物工事の場合)、または(社)日本建築士連合会・建築CPD運営会議(建築一式工事の場合)の発行する学習履歴証明書等の写し)を添付すること。  
 ・記載内容が的確に判断できる必要最低限の資料を添付すること。  
 ・(CORINS登録のある場合でも、設計図書・契約書の写し等を添付すること。)  
 ・同種工事の名称等に、若手担当技術者として従事した工事経験を記入する場合は、福井県が発行した若手担当技術者従事経験証明書の写しを併せて提出すること。  
 ・配置予定の技術者が特定できず、複数となる場合には、本様式の複数枚提出も可能とする。ただし、評価は、合計点の最低となる配置予定技術者とする。  
 ・なお、配置予定技術者を特定できず、複数枚提出する場合で、若手担当技術者の常駐を申請する場合は、配置予定技術者毎に常駐申請をすることができる若手担当技術者すべてを記載すること。  
 ・(\*)は該当する箇所を■とマークすること。マークのない場合は評価しない。  
 ・記載に誤りがある場合は原則評価しないため、「福井県建設工事総合評価簿礼方式実施要領」および「公共工事における総合評価簿礼方式の手引き」等を熟読の上、作成すること。

[P O / O]

